

平成28年10月26日

商工部産業立地課

土木部土木政策調整課

平成28年度末 長岡北スマートICが開通！ 高速アクセスの優位性を活かし、新たに産業団地を整備

今年度末、北陸自動車道の長岡インターチェンジ（IC）と中之島見附ICの間に、長岡北スマートICが開通します。長岡南越路スマートICに続く、市内2つ目のスマートICです。寺泊地域などの北部から高速道路へのアクセス性が向上し、観光交流の促進や産業基盤の強化、救急医療体制の確保など、多くの効果が期待されます。

本市は開通を受けて、市街地や既存産業団地との効果的な連携が図れ、一団の用地取得が可能な、長岡北スマートICの南側に、新たに産業団地を整備します。

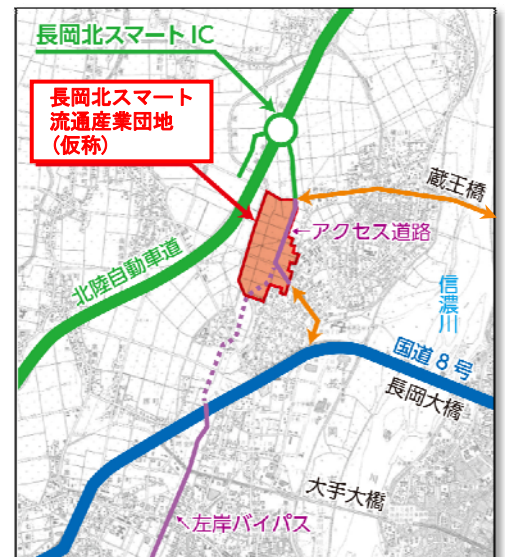
これにより、企業の新規誘致を積極的に進め、さらなる産業振興と雇用創出を図っていきます。今後は、国・県との土地利用変更の協議を進め、平成30年度から段階的に整備を行い、平成32年度を目途に順次分譲する予定です。

1 新産業団地の整備概要

- (1) 名称 長岡北スマート流通産業団地（仮称）
- (2) 総面積 約38ha
- (3) 分譲面積 約28ha（計34区画を整備予定）
※ニーズの高い3,000～5,000㎡の区画を中心に、段階的な整備を想定
- (4) 分譲価格 類似する産業団地の状況を参考に今後決定
- (5) 整備主体 長岡地域土地開発公社

2 整備に至るまでの経緯

- 市内の公設産業団地については、全36団地（約308ha）のうち、9割以上の約302haが分譲済みで、立地を希望する企業の需要に応えられない状況となりました（別紙のとおり）。
- そこで、さらなる企業誘致を進めるため、新たに産業団地を整備することとし、平成26年度から具体的な検討に着手しました。
- 企業ニーズ調査から、複数の企業が長岡市への立地意向を示すなど、進出に向けた意向や要件を把握し、開発候補地の選定方針となる基本計画を取りまとめました。
- 今年度、この基本計画に基づき、「交通の利便性が高く、高速道路インターチェンジ周辺地であること」、「市街地や既存産業団地と近接していること」を要件に候補地の選定を行った結果、今後の発展が期待できる長岡北スマートIC周辺地に決定しました。



▲位置図

3 今後のスケジュール

- 平成28年度～ 国・県と土地利用変更に関する協議
- 平成30年度～ 用地取得と造成工事着手
- 平成32年度～ 順次分譲開始（予定）

《長岡北スマートIC –新たな高速結節点の新設–》

長岡北スマートICは、市内で5つ目のICの設置となり、24時間利用が可能で、ETC（自動料金收受システム）を搭載した全車種に対応するなど、さらなる高速アクセス網の利便性の向上が図られます。

○ 概要

- ・北陸自動車道本線直結のETC専用IC
- ・ETC搭載の全車種が利用可能
- ・上下線とも乗り降り可能で、24時間運用
- ・1日利用見込みは、県内のスマートICでトップの2,300台

○ 想定される効果

- ・高速道路への15分到達圏域の人口が約41,000人増
- ・関東方面から寺泊へのアクセスが約6km、約9分短縮
- ・鉄工団地や北部工業地帯など、工業集積地の最寄りICとして営業・物流の高効率化
- ・左岸バイパスの南北延伸やアクセス道路の整備など道路網の強化

- 開通時期 平成28年度末



問い合わせ

産業団地に関すること : 産業立地課 電話0258-39-2298
長岡北スマートICに関すること : 土木政策調整課 電話0258-39-2307